

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '87 1月号

☆行事案内☆

1月		
7	水	冬の星座を見よう
10	土	土曜観察会：移動博物館（松原）
"	"	石仏を調べる会
17	"	星座早見表
"	"	古文書講読会
24	"	土曜観察会
"	"	石仏を調べる会
寄贈品コーナー		
6～30 錦絵展 渡辺コレクションより プラネタリウム		
10～2/22 ハレー彗星Part 3		
2月		
7	土	古文書講読会
14	土	土曜観察会（水辺の自然観察）
"	"	石仏を調べる会
15	日	自然観察会（厚木・七沢）

●自然観察会（生物）

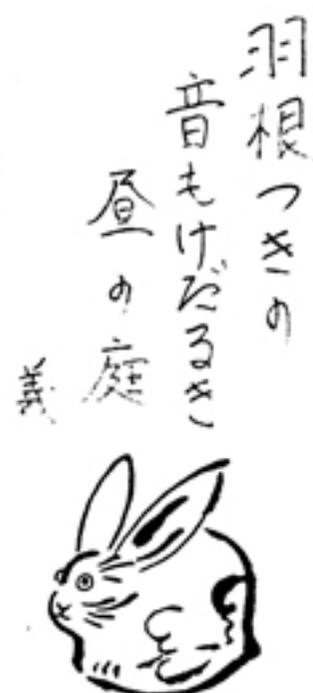
冬越しの生き物をたずねて

日：2月15日（日） 雨天中止

場所：県立自然保護センター付近（厚木市七沢）

内容：木の冬芽や越冬中の昆虫などのようすを観察する。

申し込み：2月5日までに往復ハガキで。申し込み多数の場合は抽選で30名



暮らしの暦

正月三ケ日 初詣 若水汲み 雑煮とおせち料理

2 | 船祝い

4 | 門松はずし 坊さんの挨拶回り 仕事始め（うないぞめ ぬいぞめ 初出）

6 | 年越し

7 | 七草粥 初めて爪を切る

11 | 蔵開き

14 | どんど焼き

15 | 小豆粥 成り木責め

17 | 山の神の日

18 | 十八粥

20 | 二十日正月 エビス講

24 | 地藏さんの縁日

25 | 天神さまの縁日

※卯の日 神のあがり



干支の丁卯

今年の卯年は「丁卯(ひのと)」に当たります。この丁卯の年は草木の茂るさまを意味するといひまた飛躍と改革を表わすともいいます。この例の一つが慶応3年(1867)の丁卯で、江戸幕府瓦解の王政復古、即ち明治新政の年があります。昭和62年はこのように干支からいっても、オリオンの南に輝く兎座のように希望に満ちた、そして平和でつつがないことを祈りたいと思います。



I.

「10年ひと昔」とか。博物館も開館してよいよ11年目となる。地域博物館に期待される役割りを再認識し、市民に身近かな社会教育施設として「生きた博物館」運営への努力を、今年も積み重ねていきたい。



M.



I.



K.



A.

平塚市内から出土した土器や石器などをお持ちの方は、是非ご連絡ください。

眺ねて行きます。



M.



G.

銀河新年



D.



D.



H.

新年明けましてお目とう！
今年も目を剝いてがんばります。

私が博物館の建設準備室に入った13年前、生物の資料はスズメバチの巣とヘビのぬけがらのたった2点しかありませんでした。多くの方の御協力で、今では収蔵室に入りきれないほどの標本が集まっています。今年、来年と2年間くらいをかけて、それをきちんと整理し、どんな資料が博物館にあるかが一目でわかるような目録を作る。それが当面の目標です。そうすれば、もっと大勢の方に資料を有効に利用していただけたらと思います。



D.



M.

芸術文化の振興をめざし、具体化へと踏み出す年になりました。力を尽くしたいと思います。



M.



N.



N.

うしろに

平塚の歴史をふまえ、

先に本市の歩むべき道を望みながら、郷土の歴史書を作ってきました。

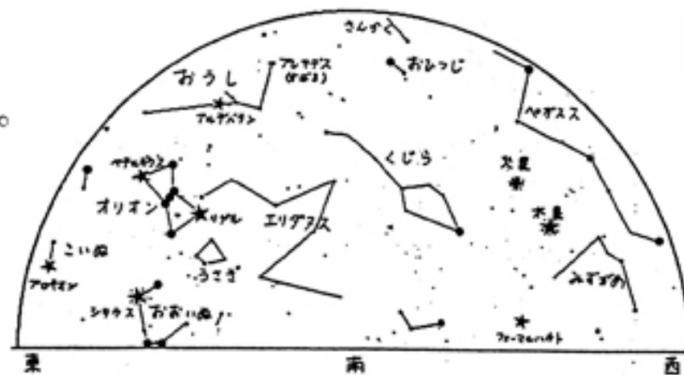
今年の情報キャッチには兎の耳を借りたいですね。



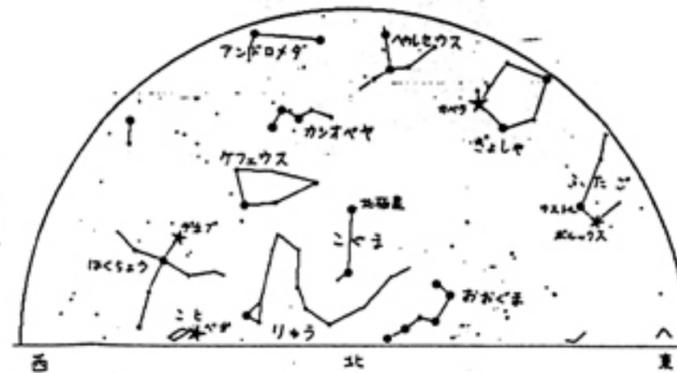
S.

星空予報

1987年平塚の初日の出は6時51分でした。明るんでゆく東の空を背景に光り輝いていた星は金星です。



1月10日 午後7時



本年も
どうぞ
よろしく



W.

稲作農耕の普及・進歩に伴い、人と人との間に、支配・被支配の関係が生まれてきました。それを象徴するものとして古墳があげられます。古墳を造営するには、多くの人力と高度な土木技術が必要です。このことから、古墳にまつられた人は相当の権力をもった人であったことがわかります。

古墳時代とは古墳が造られた期間をさし、一般に3世紀末から7世紀までをいいます。

権力を象徴する鏡 真土大塚山古墳からは、三角縁四神二獣鏡といい、中国で製作されたと考えられる鏡が出土しています。これと同じものが、京都府椿井大塚山古墳と岡山県車塚古墳からも出土しています。とくに椿井大塚山古墳は大和朝廷の首長墓と考えられており、真土の大塚山古墳の被葬者も大和政権となんらかのかかわりをもっていたと想定されます。



大陸文化の影響 この時代にもさまざまな文物が中国大陸からもたらされました。これには、文字、容器、武器、装身具などがあり、新しい思想も入ってきました。写真は杏葉という馬に取付ける装身具の1つで、この祖形は朝鮮半島に求めることができます。鉄地に金メッキが施された優品で、これを所有していた人は当時の権力者と考えられます。古墳時代を理解するには、人と人との縦の関係、さらに中国や朝鮮半島とのかかわりが必要なわけです。(A)



サガミの国を支配し、相模川水系を掌握していた国造ではないでしょうか。鏡は宝器・祭祀的な性格をもち、権力を象徴するものなのです。

富豪層の墓 古墳時代後期(6世紀)になると、それまでの高塚古墳とともに、横穴墓が造営されるようになります。この墓は横穴式石室の内部構と古代葬送観念をとり入れた墓制の一形態と考えられています。

写真の万田熊ノ台横穴墓群のように、群をなすのが大きな特徴といえます。被葬者層はかなりの財力をもった富豪層と考えられます。

